

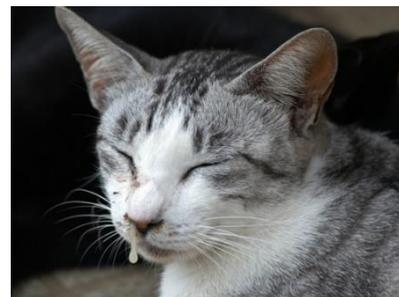
過ごしやすい季節になりましたね(^^) / コロナも落ち着いてきたので外にお出掛けす

ることも多いのではないのでしょうか。この時期は猫ちゃん達の恋の季節でもあります。

今回は子猫の時によく見られる病気のお話です。

ウイルス性上部呼吸器感染症

いわゆる猫風邪と呼ばれるもので、猫ヘルペスウイルスや猫カリシウイルスなどのウイルスや細菌に感染したことで発症します。症状は目やに・鼻水・くしゃみなどの風邪症状から、ウイルスによっては発熱・結膜が腫れる・下痢をする・口内炎が出来るなど様々です。



治療法

ウイルスを直接排除する治療はないので、症状に応じて抗生物質の飲み薬や目薬、食欲の低下や脱水症状が伴っている場合は栄養剤の注射をすることもあります。大人の猫だと自然に治ることもあるそうですが、子猫だと重症化しやすいので注意が必要です。

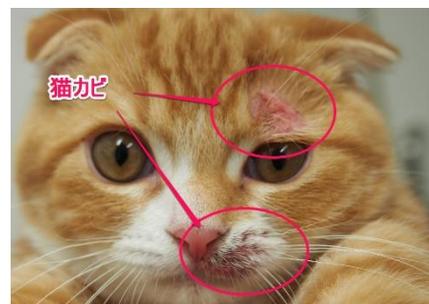


とても感染力が強く飛沫でも感染してしまうから、症状が出ている猫と症状がない

猫とで隔離をして接触を避けてあげてね。

皮膚糸状菌症

皮膚に真菌(カビ)が感染したことで発症します。免疫力の低い子猫の時期や免疫力が低下している成猫でも見られることがあります。主な症状は脱毛で、円形に広がっていきます。痒みがある場合もあります。



治療法

抗真菌薬の塗り薬をカビがあると診断されたところに塗り込みます。塗り薬が難しい場合や広範囲に及んでいる場合は飲み薬と併用することもあります。症状が改善するのに一ヶ月以上掛かることもあります。人にも感染することがあるので触った後はきちんと消毒しましょう。

根気よく治療しようね



外部寄生虫たち

ヒゼンダニ(疥癬)



人にもうつるよ

皮膚にトンネルを掘って寄生する為、激しい痒みとガサガサとした皮膚炎が伴います。

ミミヒゼンダニ



耳垢や分泌物を餌にし、黒い耳垢と激しい痒みを引き起こします。

ノミ・マダニ



予防が大事！！

ノミ・マダニともに、多量に寄生されると貧血を起こすことがあります。また、マダニは様々な怖い病気を媒介します。

内部寄生虫たち

瓜実条虫



米粒みたいな形をしているよ

毛繕いの時などに誤ってノミを食べてしまうと感染します。症状はほとんどありませんが、多量に寄生していると下痢や腹痛などの症状が見られることもあります。

猫回虫



便の中や口から吐き出されることもあるよ

寄生している猫の便や肛門付近を舐める、ネズミなどの待機宿主を食べてしまう、また寄生している母猫の母乳からも感染します。多量に寄生していると嘔吐、下痢、おなかが張る、食欲不振、発育不良などが起こることもあります。

マンソン裂頭条虫



貝ひもやさし麺みたいな形をしているよ

カエルやヘビを食べることによって感染します。軽症だと軟便、食欲があるのに体重が増えない等の症状が見られ、多量に寄生していると慢性的な下痢、どんどん痩せていく等の症状が見られることもあります。

今回は子猫の時に特に多く見られる病気を取り上げてみましたが、ほんの一部に過ぎません。体が小さいと、初めは些細な症状でも、重症化してしまうことがあります。

食欲がない、呼吸が速い気がする等、いつもと違うなと感じたら早めの受診を検討しましょう

購入された子猫もですが、ノラ猫は特に様々な寄生虫やウイルスを持っている場合があります。先住猫と一緒にするときは、出来ればしばらく隔離して、何も症状がないことを確認してから徐々に慣れさせていきましょう。気になることがありましたらご相談ください。

倉重先生より

